

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2008年12月10日

No 252

発行者 ELIC編集委員会谷口利男
108-0073 東京都港区三田3-2-20
(03)3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

富士通は社会的責任を果せ! 高見澤争議全面解決めざす集会に900名参加



電機懇からも参加する

1999年3月、富士通による「工場つぶし、組合つぶし」の攻撃を受け、10年間にわたって大企業・富士通の横暴と闘ってきたJMIU高見澤電機支部の争議全面解決をめざす決起集会が、11月23日(日)佐久市で開かれ、長野県内と県外から900人が参加した集会には、首都圏の電機懇と電機ユニオンからも10数人が連帯と激励を込めて参加しました。

富士通は電機大手の中では、日立、パナソニック

(松下)、ソニー、東芝について5番目の総売上を誇る大企業です。1993年には他社に先駆けて「成果主義」を導入、90年代後半からのリストラでは、女性に遠隔地配転や夜勤を強制するなど、やりたい放題の労働者いじめを続けています。しかしこのようなやり方が労働者の反発を受け企業業績にも影響、2005年には「成果主義見直し」に追い込まれています。

【富士通は企業の社会的責任を果たせ!】【組合つぶしをやめろ!】集会のシュプレヒコールを富士通に履行させる闘いが続きます。(今井)

今月号の紙面

- ①高見澤電機争議支援集会
- ②要求アンケートの取り組み
- ③沖セミコンのリストラ反対
第6次賃金政策について
- ④三洋電機が子会社に
- ⑤OAK第24回総会
- ⑥私の自慢「アウトア」松本氏
- ⑦ユニオンコーナ、青年コーナ
- ⑧争議日程、電機のついで
アンケートへの声、集積回路

